

電子部品流通

THE DENSHI BUHIN RYUTSU

第254号

令和7年

(2025年)

発行 2月28日

年4回発行

発行

全国電子部品流通連合会

東京都文京区湯島3-6-1

<https://www.jep.gr.jp/>

電話 東京 03(3832)4295

企画編集 家電流通研究センター



新・広島駅ビルが2025年春開業

JR西日本グループ・広島市・広島電鉄の3社が作り上げる新しい広島駅ビルが、2025年3月24日に開業する。ビル2階に乗り入れる広島電鉄・路面電車の「駅前大橋線」も、夏頃の開通を予定。中四国地方最大の陸の玄関口が大きく姿を変えることになる（写真は、新・広島駅ビルのイメージ図）。

■全国電子部品流通連合会／各地区団体の方針

- 全国電子部品流通連合会（JEP）
- 東京都電機卸商業協同組合（TEP）
- 近畿電子部品卸商組合（KEP）
- 中部電子部品流通業協議会（CEP）
- 関東甲信越電子制御部品流通協議会（NEP）
- 中・四国電子制御部品流通協議会（CSEP）
- 九州電子流通業協議会（KRP）

CONTENTS

- ◎JEP／各地区団体2025年方針 2
- ◎香港エレクトロニクス・フェア（春） 7
- ◎電子機器トータルソリューション展2025／ECU Show ... 8
- ◎CEATEC 2025 9
- ◎新年名刺紙上交換会 10
- ◎J E I T A / 「電子情報産業の世界生産見通し」から ... 12

JEP 全国電子部品流通連合会

JAPAN FEDERATION OF ELECTRONIC PARTS DISTRIBUTORS & DEALERS



全国電子部品流通連合会／各地区団体の方針

各地区組合との連携強化を図る

会員間での情報共有や結束も強化

2025年の電子部品業界は、次世代自動車やロボット、次世代通信市場などの需要が拡大し、堅調な成長が予想される。

また将来的に業界が特に注目するものとして、ソフトウェアによって自動車の機能や性能を定義し、アップデート可能な車両であるSDVがある。このSDVは、2035年には2025年比で半導体で約1・8倍、電子部品で約1・5倍の金額に

なると見込まれている。

このような市場が予想される中、各地区団体では新たなツールの導入や会員間の連携、さらにはより進んだ各地区団体同士の協力体制などを目指し、先を見据えた動きを見せている。

ここでは、全国電子部品流通連合会（JEP）と各地区団体の活動方針等を紹介する。

全国電子部品流通連合会（JEP）
東京都電機卸商業協同組合（TEP）

会長 屋宮芳高
理事長

卸組合の50―50を目指して

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

皆様には、日頃より全国電子部品流通連合会と東京都電機卸商業協同組合の活動に對しまして、格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申

上げます。
昨年もお初の能登半島を始めとして各地で大きな地震や大雪、山火事、大雨による被害がありました。一方で隠れコロナを心配しつつも経済活動が通常に戻り、150円を

超える円安の影響もあり、年間3千万人を超す外国人が日本を訪れました。また、パリオリンピックでの日本選手と大リーグの大谷選手の活躍、さらに日本被団協のノーベル平和賞受賞にも勇気付けられました。
ロシアとウクライナ、イスラエルとパレスチナの戦闘は解決の糸口も見られません。その影響でエネルギー価格が高止まりし、食料価格の高騰と食料不足といった問題も続



屋宮会長

いています。ロシアの影響力の低下によりシリア・アサド政権は崩壊しました。フランスでは内閣不信任案が可決され、ドイツでは連立議会が崩壊し、韓国では大統領弾劾が可決。日本でも先の衆議院選挙で与党が敗北し、少数与党政権となっています。

今年の業界は経済安全保障の面から、政府がTSMCやラピダスの半導体、製造装置産業育成のために2030年に向け、10兆円を超える支援を表明しています。自動車もEV化やSDVによる自動化、AI半導体を使用したデータセンターの建設、ペロブスカイト太陽電池の開発と、長期的に見れば電子部品の市場の先行きには明るさが見られます。

しかし、決してインバウンドだけでは日本経済は強くありません。半導体だけでも日本経済は強くありません。産業力の強化を目指すべきだと考えています。

国産ワクチン、国産ジェット、国産ロケット、小型で安全な原子力発電所や災害に強いインフラ設備、ソフトを含めた鉄道技術、高度医療機器などの開発こそが強化すべき対象だと考えます。

私どもの業界においても、若手のリーダーとともに10年、20年先を見据えた業界づくりを考え、働き方改革、デジタル化、女性の活躍促進、多様性の尊重、環境問題を意識し、持続可能な社会への貢献を進めたいと考えています。

現在、地球の温暖化やPFAS、PFOS、マイクロプラスチックの問題が話題になっています。そこで私どもの業界においても、環境意識をもっと高めたいと考えています。

そのために全国の部品商社のネット販売システムを構築し、お客様に効率よく部品を提供し、少しでも部品の廃棄を削減して環境を守っていきたいと考えています。

そこで目指すのは、組合内ネット販売50%アップと廃棄部品50%オフによる50→50です。

また、他地区の組合とも連携を強化して、組合のネットワーク力の強化も図ります。

そのために東北地区の組合の再結成や北海道地区における組合の立ち上げも進めて参ります。

そして、電子機器トータルソリューション展やCEAT EECとタイアップをして参ります。

2025年は「乙巳（きのとみ）」に当たる年とされ、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった意味合いを持つとされています。巳年は成長や変革の年だそうですが、そのためには柔軟性が必要であるとも言われています。2025年は蛇のごとく鋭い洞察力で、自分の道を切り開く年にしましょう。

どうか本年も、皆様からの変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

電子部品の生産活動も通常に戻ってきましたが、未だに在庫の過剰状態が継続しています。半導体の需給悪化と先

行きの不透明感も増しています。我々の業界は経済安全保障の面から、政府がTSMCやラピダスの半導体、製造装置産業育成のために2030年に向け、10兆円を超える支援を表明しています。自動車もEV化やSDVによる自動化、AI半導体を使用したデータセンターの建設、ペロブスカイト太陽電池の開発と、長期的に見れば電子部品の市場の先行きには明るさが見られます。

しかし、決してインバウンドだけでは日本経済は強くありません。半導体だけでも日本経済は強くありません。産業力の強化を目指すべきだと考えています。

私どもの業界においても、若手のリーダーとともに10年、20年先を見据えた業界づくりを考え、働き方改革、デジタル化、女性の活躍促進、多様性の尊重、環境問題を意識し、持続可能な社会への貢献を進めたいと考えています。

現在、地球の温暖化やPFAS、PFOS、マイクロプラスチックの問題が話題になっています。そこで私どもの業界においても、環境意識をもっと高めたいと考えています。

そのために全国の部品商社のネット販売システムを構築し、お客様に効率よく部品を提供し、少しでも部品の廃棄を削減して環境を守っていきたいと考えています。

そこで目指すのは、組合内ネット販売50%アップと廃棄部品50%オフによる50→50です。

また、他地区の組合とも連携を強化して、組合のネットワーク力の強化も図ります。

そのために東北地区の組合の再結成や北海道地区における組合の立ち上げも進めて参ります。

そして、電子機器トータルソリューション展やCEAT EECとタイアップをして参ります。

2025年は「乙巳（きのとみ）」に当たる年とされ、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった意味合いを持つとされています。巳年は成長や変革の年だそうですが、そのためには柔軟性が必要であるとも言われています。2025年は蛇のごとく鋭い洞察力で、自分の道を切り開く年にしましょう。

どうか本年も、皆様からの変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

近畿電子部品卸商組合（KEP）

理事長 江見佳之

魅力を感じられる組合を目指す

近畿電子部品卸商組合（KEP）の活動において、皆様には格別のご支援とご協力をいただき、心より御礼を申し上げます。

昨年は、能登半島地震、集中豪雨、そして西日本においては南海トラフ地震臨時情報

が初めて発表されるなど、自然災害の脅威を改めて認識され、自願っております。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興を心より願っております。

また1月17日には、阪神淡路大震災から30年となりました。KEP会員におきましても、あの日の記憶は今も鮮明であり、今もなお話題に出ることが多く、改めて防災への意識を高める必要性を痛感しております。

さて、世界経済に目を向けると、隣国との関係緊張や政



坂会長

2025年を迎え、米国では第二期トランプ政権がスタートし、早速多くの大統領令に署名され、世界のマーケットでは不安が広がり、対策が

検討されております。貿易戦争が勃発したと言っても過言ではないでしょう。我々の業界にも影響は必至と考えています。それにより、中国の経済や製造業は冷え込み、設備投資も縮小されていきます。そのため電子部品流通の在庫調整は後ろ倒しされ、長期化が続いております。ここ中部地区の動向としては、自動車メーカーの認証不

正問題や、世界各地の景気停滞により自動車生産数は前年割れとなり、地区の製品出荷数も停滞しています。このような米中の動向を踏まえ、多くの地域の企業が先行き不透明な状況を感じていると考えられます。そのような中、2024年11月に日本最大級のオープンイノベーション拠点「STATION Ai」が名古屋・

鶴舞に誕生いたしました。スタートアップ企業の創出・育成およびオープンイノベーションの促進を目的として、様々な支援サービスが提供されています。700社を超える国内外のスタートアップ企業、パートナー企業、VC等の支援機関や大学等が「STATION Ai」に参画し、新規事業創出に取り組んでいます。

愛知・東海エリアは日本経済を牽引する産業の集積地であり、既存産業と新規事業の融合により、新たな価値を生み出すハブとなることが期待されています。参画企業のテーマも多岐に渡りますが、特に「生成AI」をテーマにしているスタートアップ企業が目立つように感じます。我々、中部電子部品流通協

CEPでの生成AIへの取り組み

会長 坂 明憲



江見理事長

治混乱、ウクライナと中東情勢、そしてアメリカではトランプ大統領の新政権始動により、従来に増してリスクとメリットが交差する時代となっております。

国内経済においても、物価上昇や円安の影響、労働不足、環境規制の強化、物流の2024年問題など、厳しい経営環境が続いており、私たち電子部品業界においては、サプライチェーンの安定性や品質管理、環境への配慮が引き続き重要なテーマとなっております。その中で近畿の電子部品業界においては、いくつかの明るい兆しも見えてきておりま

す。新型コロナウイルスの扱いが5類感染症に移行したことを受け、インバウンドの増加も伴い近畿の経済活動の活性化が進むとともに、半導体設備、ロボット産業を始めとする各産業で設備投資の意欲が回復傾向にあります。またAI、DXといった先端技術の普及に伴い、電子部品、設備機器の需要はますます多様化、高度化しており、新たなビジネスチャンスが生

まれております。さらに、本年4月13日から半年間、開催される大阪・関西万博では、各国よりビジネスチャンスが持ち寄られることが想定され、大阪府からはマッチングのステージを準備いただくなど、KEPにとりましても新しい商機につながる機会を作れることを期待しております。

このようにKEPは、電子部品、制御機器関連商社の集まりとして、経済活動を円滑にし、賛助会員各社の皆様とも協力し合うことで、会員各社が産業機器業界の多様なニーズに応えられる土壌づくりを目指して参ります。また、四つの委員会の下、様々な取り組みを行い、会員・賛助会員に魅力を感じていただける組合になれるよう今年も取り組んで参りますので、よろしくお願い申し上げます。

議会（CEP）においても、新しい試みとして「生成AI」を活用し、会員企業の課題解決ができないかと考えています。

まずは「不動産運用」をテーマに取り組むこととし、昨年12月に「生成AIの活用について」の1回目のセミナーを開催しました。

第2回は「STATION AI」にて、今年4月に開催を予定しており、業界課題である「不動産運用」の情報共有を目的として、会員各社

への「生成AI」の試験運用を実施したいと考えております。今年は「生成AI」のセミナーだけに留まらず、実際に安定を期待しています。

関東甲信越電子制御部品流通協議会（NEP）

会長 柳田佳克

多種多様な講習会や情報共有を目指す

AI関連投資が世界的に旺盛であり、国内においても半導体工場の建設ラッシュが続いています。2025年もAI関連の需要に加え、環境対応や自動化などの成長領域に注目したいと考えています。



柳田会長

IT製品関連は堅調である一方、全般的には自動車や産業機械などの伸び悩みが目立つ状況が続いているように思われます。需要業種によって依然としてまだ模様が強く、また見通しも難しく、回復にはもう少し時間が掛かるというニュアンスが多く聞かれます。

構造的な課題解決に向けた投資に加え、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みや、グリーントランスフォーメーション（GX）、デジタルトランスフォーメーション（DX）への対応は、今後さらに進展する1年になると予想されます。

一方、円安による輸入物価の上昇などに伴う原材料等の値上がりや、日銀の金利引き上げによる金融政策の正常化の期待、また財務基盤の比較

的弱い中小企業に与える影響について懸念が高まっています。また、「米国第一主義」のトランプ新政権の政策の行方など、不確実な時代を乗り切るためには、これからの関東甲信越電子制御部品流通協議会（NEP）の在り方が重要だと考えます。

設備投資面では、場面ごとに動きが表れてきました。サプライチェーンの強化や深刻化する人手不足問題など、

様々な分野で必要な情報を最速に発信できるよう、長年に渡り先輩方が築いてこられた相互扶助の精神を踏まえ、会員相互の親睦と協調を図

り、健全な発展と向上に取り組んでいく所存です。今年1年間、頑張つて参ります。

2025年は、親睦会や通常総会を計画しております。さらにオンラインを活用した勉強会や、TEPと連携しながら多種多様な講習会を企画し、会員の皆様とコミュニケーションを図りながら情報を共有し、会員企業の価値向上に向けた活動を展開して参りますので、よろしく願います。

中・四国電子制御部品流通協議会（CSEP）

会長 中野和久

業界の枠に留まらない会を目指す

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また平素は中・四国電子電子部品流通協議会（CSE P）の活動にご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

2025年の電子部品業界を取り巻く環境は、依然として変化のスピードが速く、厳しい挑戦が続くことが予想さ



中野会長

れます。

特に、脱炭素社会の実現に

向けた持続可能な製品開発や、AI・IoTのさらなる普及に伴う高度化したニーズ、通信分野における5G、さらにはその次の通信規格で

ある6G技術に向けた動きなどへの対応が求められます。

これに加え、国際的な紛争や戦争による地政学的リスクやサプライチェーンの強靱化も引き続き重要な課題となります。

このような状況の中、業界全体が一丸となり、変化に柔軟に対応する力を磨くことが不可欠です。

当協議会では、会員企業の

皆様とともに、情報交換や連携強化を通じて、より付加価値の高いサービスを提供できる仕組みを構築して参ります。

また、地域に根ざした活動を重視し、次世代の人材育成にも積極的に取り組む所存です。

2025年は、新たな成長と飛躍の1年とするため、会員企業の皆様と共に知恵を出し合い、業界全体の発展に尽力していく所存です。

本年度で42回目の新春賀詞交歓会には、全国電子部品流通連合会（JEP）の屋宮芳高

会長をお招きしました。JEPとCSE Pの交流を深め、

屋宮会長がJEPの野望として掲げている各単組の交流強化、JEPネットワーク部品の流通システム・人材育成や労務管理、海外諸機関と連携して海外事業サポート、脱炭素社会・持続可能社会への貢献、電子部品業界魅力度アップなどに協力して、中四国の地域に留まらず全国の協議会との連携を、さらに強固なものにしたいと思っています。

また、去る1月15日には新春賀詞交歓会のイベントとして、中国地方を中心に活躍中のシンガー、ヴァレンシア・

ウイリアムズさんをお招きし、歌と楽器演奏のLIVEをしていただきました。

このように業界の枠に留まらず、幅広い分野での講演会や勉強会で魅力ある会にしていきたいです。

2025年度におきましても、引き続き毎月の昼食定例会でメーカーの製品説明、賛助会員（報道）のセミナーやスピーチなどで知識向上を図ります。

9月には大物事業として、広島では有数の高級料亭での親睦懇親会を予定しております。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

九州電子流通業協議会（KRP）

会長 伴野 豪

会員間の交流と協力体制を強化

新年あけましておめでとーございます。

日頃より九州電子流通業協議会（KRP）の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

KRPは、2024年8月

に福岡エレコン交流会様および福岡市機械金属工業会様と

共同で、モバイルゲームやビデオゲームを使った対戦をスポーツとして競技性のニュアンスを加えたものであるeスポーツ大会を開催いたしました。

た。

ドライビング&カーライフシミュレーター「グランツーリスモ」を用いたこの大会では、参加者は白熱したレースを楽しみました。

大会終了後の懇親会では、

会員同士の交流が深まり、情報交換やビジネスチャンスの創出が図られました。

KRPの活動があまり進展していない部分もあります。が、今後はレクリエーションやワークショップの実施を通

じて、会員間の交流を深め、協力体制を強化することを目指しています。

また2025年1月21日には、福岡エレコン交流会様および福岡市機械金属工業会様と共同で、賀詞交歓会を開催

HKTD C資料から、約2300社が参加する



- ・約2,300社の出展を見込む
 - ・230以上の製品タイプを掲載
 - ・12の国と地域から参加
- 香港、中国本土、アルゼンチン、デンマーク、インド、日本、韓国、シンガポール、スペイン、スイス、台湾、米国

アジア最大のエレクトロニクスショー「香港エレクトロニクス・フェア（春）」が、2025年4月13日（16日）（※オンラインでは4月6日（23日）に掛けて、香港コンベンション&エキシビションセンターで開催される。またアジア最大規模のITイベントである「InnoEX」も開催される。

主催する香港貿易発展局（HKTD C）によると香港エレクトロニクスフェアは、最先端のテクノロジーや次世代エレクトロニクスを紹介し、5G&AIoT、3Dプリンティング、コネクテッド・

リアルに加え、オンラインでの商談も実施

ホーム、ロボティクス、無人テクノロジー、スマート・ビジネスソリューション、XR（クロスリアリティ…現実世界と仮想世界を融合する技術の総称）など、世界中のサプライヤーが多種多様な製品やアイデアを提供する場となる。

オンラインの場合、「Click2Match」（※商談の機能を備え、AIを駆使した香港貿易発展局のビジネス・マッチング・プラットフォーム）により、興味のあるサプライヤーやバイヤーとの橋渡

謹んで新春のお慶びを申し上げます
皆様のご健勝とご発展をお祈りいたします

全国電子部品流通連合会



伴野会長

し、デジタルハリウッド大学の教授、橋本大也様を講師に迎え「2025年はAIで生産性を3倍にする」というテーマで生成AIの活用方法について講演いただきました。

九州地区の動きとしては、TSMC熊本の進出に伴い、半導体関連産業において活発な設備投資が行われています。

この動きにより、新生シリコンアイランド九州の実現に向けて官民が協力し、九州全体への経済波及効果も大きく期待されています。

多くの企業で設備投資が進み、堅調な成長が予想されます。また、半導体関連の需要増に対応するための物流拠点整備への投資も進んでいます。

しも可能となっている。

なお、今回の「香港エレクトロニクス・フェア（春）」では、12の国と地域から約2300社の出展が見込まれている。詳細は、香港貿易発展局のホームページ等で確認してほしい。

電子機器トータルソリューション展2025/ECU Show

6月4日、東京ビッグサイトで開催

電子機器トータルソリューション展2025 (JPCA Show) が2025年6月4日〜6日に掛け、東京ビッグサイト東展示棟で開催される。

同展は、全国電子部品流通連合会 (JEP) と東京都電機卸商業協同組合 (TEP) からの参加企業によって実施される「Electronics Component



昨年のECU Show

& Unit Show (ECU Show) に加え、第54回国際電子回路産業展、第39回最先端実装技術・パッケージング展、第26回実装プロセステクノロジ展、AIデバイス展、電気・光伝送技術展、イーテキスタイル/ウェアラブル展で構成されている。

今後のスケジュール

昨年のECU Showには、JEPからは岡本無線電機、東亜無線電機、NNP、ツルタ制御機器、成電社の5社が参加。TEPからは三共社、ジュバ、メトロ電気、アール電子、日川電機、飯田通商、グローバルディスプレイ、コアスタッフ、ノマ電気の9社が参加。またJEP事務局も参加し、会場ではJEP会員名簿の配布が行われた。

今後のスケジュールとしては、3月に出展者説明会、4

月に招待状発送、6月2日〜3日に掛けて搬入となる。

なお、昨年の参加者からは、「今回の展示では、アピールしたい品が一目で来場者に分かってもらえよう、大きくアピールした」、「この展示会が当社の技術者のモチベーションを高めている」、「展示会までにこんな提案ができるようにしよう」など、現場から積極的な声が出ている」といった声が聞かれ、出展者らが積極的に来場者に声を掛けるシーンも多く見られた。

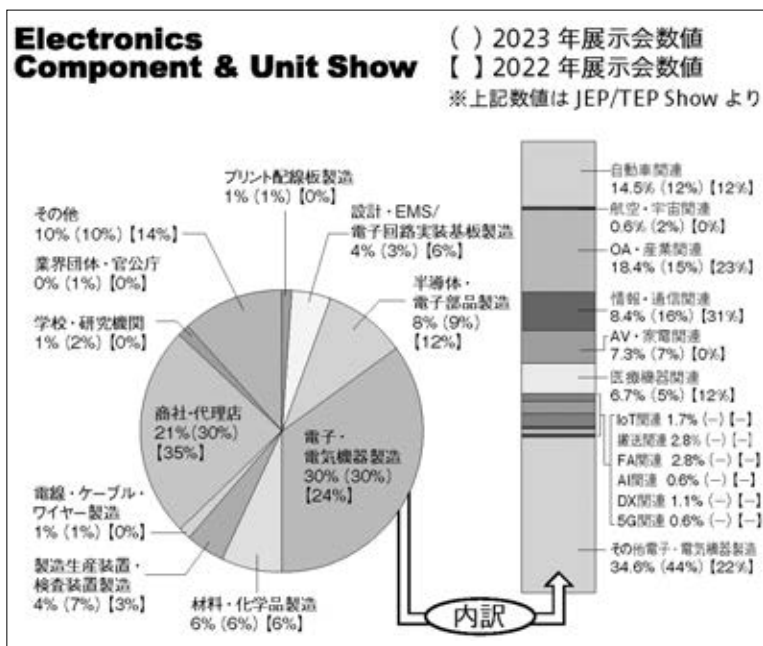
ECU Show 昨年の傾向

なお、昨年のECU Showの来場者分析 (表参照) を見ると、「電子・電気機器製造」が約30%、「商社・代理店」が約21%、「半導体・電子部品製造」が約8%となった。

また来場した「電子・電気機器製造」の内訳を見ると、

大きなところでは「自動車関連」が14.5%、「OA・産業関連」が18.4%。最も多い「その他電子・電気機器製造」が34.6%となった。その

のため25年展では、「その他電子・電気機器製造」の客層をどのように取り込んでいくかなどがテーマの1つとなっている。



CEATEC2025

今年も重要テーマにAI。専用ゾーンも！

CEATEC運営委員は2月6日、Web会見を開き、CEATEC2025への参画や開催概要等について紹介した。

CEATEC2025は、電子情報技術産業協会（JEITA）の主催、情報通信ネ

ットワーク産業協会とソフトウェア協会の共催で実施され、10月14日～17日まで幕張メッセ（千葉県）で開催される。

開催趣旨は「経済発展と社会課題の解決を両立する『Society5.0』の実現を目指し、あらゆる産業・業

種の人と技術・情報が集い、「共創」によって未来を描く」。

つまり、デジタルイノベーションの総合展として、「共創によって未来を描く」ことがテーマとなっている。

そのためCEATECでは、①イノベーションが動き出す場を提供（人と技術、コンセプトが集い、新たな価値を創造し、社会と産業の進化を促進）、②未来社会のビジ

ョンを提示（テクノロジーが切り拓く持続可能で豊かな未来社会を提案し、社会課題解決の機会を創出）、③多様な業界や業種、国や地域を越えた連携を促進（国、地域、産業や分野を越えた連携を生み出し、新たなイノベーションを創出）、④ビジネスチャン

スの創出（新しい顧客、パートナー、投資家などにつながる機会を提供し、事業成長を後押し）、⑤未来社会を担う

イノベーターたちをサポート（スタートアップ・大学研究機関の参画支援などの、次世代のイノベーターたちをサポート）といった方向性を打ち出している。

AIや暮らしのDX化を提案

展示での注目ポイントとしては、主催者特別企画として、「暮らしのDX」と「海洋デジタル社会」の特設バリエーションを設置する。

「暮らしのDX」は、IoT/AI/ネットワーク技術の進化により、子育て世代、高齢者、単身者など様々なライフスタイルに合ったサービスやスマートホームにより、消費者の暮らしは大きく変化していることから、便利で快適、安全な暮らしの将来像を展示。

「海洋デジタル社会」は、「デジタルが紡ぐ海の未来」をテーマにしており、海洋産業へ

のデジタル技術の活用や次世代人材の育成、環境問題や食料自給など、海洋が抱える課題解決への挑戦を共有する場となる。

これ以外にも「AX（AI Transforma on）パーク」が設置される。これは、AIで世界を変えていく最前線に立つ企業や団体が参加する場となり、半導体開発、クラウドコンピューティング関連、AIプラットフォームフォームプロバイダー、ロボティクス関連、自動運転・モビリティ関連、AIを活用して自律型ロボットや産業用ロボットを提供する企業などが出展する予定で、大きく変わるこれからの未来社会や最新技術・ソリューションを発信する。

全国電子部品流通連合会（JEP）も協力団体として出展する予定となっており、「会員名簿」の配布を行う。



昨年のJEPブース



JEP会員名簿などを配布

新年の お慶びを 申し上げます

飯田通商株式会社

会長 飯田和信
社長 山崎隆博

〒101-0021 東京都千代田区外神田三十九-13
電話 〇三-三二五七-一三二一

オーエスエレクトロニクス株式会社

代表取締役
社長執行役員 東海林 尊信

〒101-0021 東京都千代田区外神田三十一-六八
(秋葉原三和東海ビル)
電話 〇三-三二五五-五九八五



岡本無線電機株式会社

おおとり株式会社

代表取締役会長 岡本 崇弘
代表取締役社長 岡本 崇義



〒556-0005 大阪市浪速区日本橋四-八-四
電話 〇六-(66) 四六七-(代表)

電器・電子部品の総合卸商社



角田無線電機株式会社

代表取締役
社長 長澤 雅裕

本社 東京都千代田区外神田3-14-10
電話(〇三) 三二五三-八一一(代)



三信電気株式会社

代表取締役
社長執行役員
(CEO)

鈴木 俊郎

〒108-8404 東京都港区芝四-四-十二
電話 〇三-(343) 五二二(代)

株式
三和コネクタ研究所

代表取締役
北 裕一郎

〒164-0002 東京都中野区上高田三十一-〇
電話 〇三-(337) 一六二(代表)

大和無線電機株式会社

代表取締役
会長 堀内 優
代表取締役
社長 堀内 覚

〒113-0034 東京都文京区湯島三十三-八
電話 〇三-(384) 八三六-一
FAX 〇三-(384) 三二一-一

中央無線電機株式会社

取締役会長 藤木 正則
代表取締役
社長 藤木 愛



〒104-0032 東京都中央区八丁堀-4-11-4
電話 03-5117-114

千代田電子機器株式会社

代表取締役社長

小峰 和哉

〒101-0021 東京都千代田区外神田三丁目三十九
電話 〇三(323)九五六一

東亜無線電機株式会社

代表取締役
社長

江見佳之

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋五丁目一七
電話 〇六(644)〇一一七(代表)

株式会社 東京理工舎

代表取締役社長

岡崎 孝宣

〒338-0823 埼玉県さいたま市桜区栄和一丁目三〇
電話 〇四八(856)三八五一一九三三年創業 電子部品の専門商社
富久無線電機株式会社

代表取締役社長

加藤 公生

〒113-0034 本社 東京都文京区湯島一丁目一
電話 〇三(381)五一二一(代)
拠点 所沢営業所 所沢商品センター
海外 富久香港有限公司

鳥居電業株式会社

代表取締役社長

齊藤 修

〒101-0021 東京都千代田区外神田二丁目一〇一九
電話 〇三(3253)7571(代)TORII
Automation for Human<http://www.tois.co.jp>

エレクトロニクス専門商社

日朋電子株式会社

代表取締役
社長

勝田 吉武

本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田三丁目七番三号
電話 〇三(323)四五四六代表

ノマ電気株式会社

代表取締役

樋口 亘

〒107-0062 東京都港区南青山五丁目一六
電話 〇三(3409)6166(代)

浜田電機株式会社

代表取締役社長

浜田 健太郎

〒101-0013 東京都中央区日本橋本町三九四
電話 〇二五五六一七三五<http://www.hamada-dk.com/>

株式会社 丸三電機

取締役 社長 竹村 元秀
代表取締役 社長 竹村 美香〒101-0011 東京都千代田区外神田三丁目九一二
電話 〇三(31253)〇四一一LEXMARUSAN
<http://www.lex.co.jp>ISO 9001 認証取得
ISO 14001 認証取得

皆様のご清栄を

お祈り申し上げます

株式会社 家電流通研究センター
『電子部品流通』編集部

『CEATEC2025』

10月14日～17日

幕張メッセにて開催

『電子機器トータルソリューション展2025』

6月4日～6日

東京ビッグサイト東展示棟

JEITA「電子情報産業の世界生産見通し」から

電子部品、25年はプラス成長を予測

電子情報技術産業協会（JEITA）は2024年12月19日、会見を開き「電子情報産業の世界生産見通し」を発表した。

ここでは日系企業の世界生産と電子部品の見通しの部分について紹介する。

電子情報産業における24年の日系企業生産額（海外生産分を含む）は、円安により電子部品・デバイスを中心に回復し、同様に価格競争力が高まる高機能のデジタルカメラやプリンター、電気計測器などが安定的に推移。パソコンやソリューションサービスも需要拡大を背景に増加し、プラス成長を見込んだ。

特に、AI特需による半導体需要の増加や、Windows 10のサポート終了に伴うパソコンの買替需要の喚起、そしてミラーレスカメラを始めとしたレンズ一体型カメラの伸長により、24年の日系企

業の生産額（海外生産分を含む）は電子情報産業で41兆1813億円（対前年比6%増）、このうち電子工業で32兆1823億円（同6%増）とプラス成長を見込んだ。

25年は、DXへの取り組みが堅調に推移することでソリューションサービスが引き続き拡大し、電子部品・デバイスもAI用途や自動車の電装化によって需要が見込まれることからプラス成長を見通した。

また今後は、サーバやパソコン、スマートフォン等への生成AI搭載による電子部品の需要拡大が期待できる。

これに加えて、半導体では円安による海外での価格競争力の優位性が維持され、カーボンニュートラル推進に伴う省エネ対応半導体の需要も引き続き好調であるため、半導体全体で生産増が期待される。さらに、Windows

10のサポート終了に伴うパソコンの買い替え需要は引き続き堅調であり、25年後半からはAI搭載パソコンの需要増も期待できる。

これらを背景に、25年の日系企業生産額は42兆8613億円（同4%増）とプラス成長を見通した。

●電子部品の動き

電子部品（受動部品／接続部品／変換部品／その他電子部品）については、次の通り。

24年の電子部品世界生産額は32兆2935億円、世界生産額に占める日系企業生産の割合は約33%に当たる10兆5601億円。このうち国内生産は3兆3732億円で、日系企業の国内生産比率は約32%と見込んだ。

世界生産動向では、24年は世界的な高インフレも金融引き締め効果で鎮静化に向かっ

ているが、経済全体としては停滞感が続く。

中東情勢、主要国の首長選動向、低迷する中国経済の深刻化等によるリスクからも不透明感は拭えず、回復見込みは25年後半との見方が強い。

電子部品需要は牽引してきた自動車のBEV（電気のみを使って走る車）へのシフトが鈍化の一方、AIサーバを中心にデータセンタ向け需要の増加もあり、24年は横ばいと見込んだ。

25年は、AI関連需要のさらなる拡大、自動車のxEV化・先進運転支援システム（ADAS）化の継続成長を期待した。さらに家電・産業機械での回復も見込み、プラス成長を見通した。

日系企業の生産動向（円ベ

イス）では、24年は中国経済の低迷、欧米でのBEVの成長率鈍化、スマートフォンのローエンド率上昇等によるマ

イナスの一方、AIサーバ等のIT投資関連での需要拡大により、円ベースではプラス成長を見込んだ。

25年はサーバ・PC・スマートフォン等への生成AI搭載による需要拡大、自動車でのxEV化・ADAS化の継続した成長、また低迷を続けてきた家電・産業機械でも回復を見込み、プラス成長を見通した。

国内生産動向（円ベース）

では、24年は中国での景気停滞等により電子部品の輸出が低迷、また国内自動車メーカーの認証問題による生産停止の影響があった一方で、AI関連での部品需要拡大により、国内生産も円ベースではプラス成長と見込んだ。

25年はAIを中心としたIT投資の拡大、国内自動車メーカーの生産回復、家電・産業機械の低迷からの脱却を見込んでプラス成長を見通した。

日系企業の世界生産見通し(円ベース)

円ベース

(単位:億円)

	2022 (実績)	2023 (実績)	対前年 伸び率	2024 (見込み)	対前年 伸び率	2025 (見通し)	対前年 伸び率
電子情報産業計 (電子工業計+ソリューションサービス)	398,275	388,389	-2%	411,813	6%	428,613	4%
電子工業計 (電子機器+電子部品・デバイス)	318,841	304,657	-4%	321,823	6%	333,085	3%
電子機器	141,703	135,798	-4%	141,140	4%	142,250	1%
AV機器	31,996	29,972	-6%	29,693	-1%	28,659	-3%
薄型テレビ ※内数	11,728	10,227	-13%	9,794	-4%	8,967	-8%
映像記録再生機器 ※内数	1,925	1,547	-20%	1,320	-15%	943	-29%
撮像機器 ※内数	4,589	4,787	4%	5,391	13%	5,339	-1%
カーAVC機器 ※内数	10,344	10,064	-3%	9,723	-3%	9,919	2%
スピーカサウンドシステム ※内数	2,862	2,783	-3%	2,935	5%	2,978	1%
通信機器	20,180	18,076	-10%	17,850	-1%	17,855	0%
無線通信装置	14,079	11,853	-16%	11,770	-1%	11,775	0%
携帯電話(スマートフォン含) ※内数	6,435	4,604	-28%	4,241	-8%	4,031	-5%
有線通信装置	6,101	6,223	2%	6,080	-2%	6,080	0%
コンピュータおよび情報端末	62,607	61,075	-2%	65,867	8%	67,076	2%
サーバ・ストレージ	3,556	3,903	10%	3,930	1%	4,069	4%
パソコン	12,402	12,498	1%	13,524	8%	14,167	5%
情報端末	46,649	44,674	-4%	48,413	8%	48,840	1%
ディスプレイモニタ ※内数	3,822	3,807	0%	4,079	7%	4,253	4%
プリンター ※内数	27,873	25,774	-8%	29,069	13%	29,741	2%
イメージスキャナ/OCR ※内数	844	740	-12%	704	-5%	679	-4%
電子タブレット端末 ※内数	849	819	-4%	719	-12%	705	-2%
その他電子機器	26,920	26,675	-1%	27,730	4%	28,660	3%
電気計測器	7,065	7,454	6%	7,873	6%	8,252	5%
医用電子機器	5,339	5,245	-2%	5,424	3%	5,662	4%
電子応用装置他	14,516	13,976	-4%	14,433	3%	14,746	2%
電子部品・デバイス	177,138	168,859	-5%	180,683	7%	190,835	6%
電子部品	103,041	99,193	-4%	105,601	6%	112,142	6%
ディスプレイデバイス	12,090	9,259	-23%	7,424	-20%	3,893	-48%
半導体	62,007	60,407	-3%	67,658	12%	74,800	11%
ソリューションサービス	79,434	83,732	5%	89,990	7%	95,528	6%
SI開発	48,547	46,312	-5%	48,488	5%	50,719	5%
アウトソーシング・その他サービス	24,298	30,648	26%	34,479	13%	37,548	9%
ソフトウェア	6,589	6,772	3%	7,023	4%	7,261	3%

※単位未満四捨五入により、内数と合計が一致しない場合がある。

スピーカサウンドシステム…スマートスピーカを含む。

SI開発…コンサルテーションからシステム構築を含むもので、通常、上流工程から下流工程と呼ばれている企画、設計、開発、納入までのSI全体。

アウトソーシング・その他サービス…ハードウェア、ソフトウェアの保守サービス、リモート監視、クラウドサービスを含むアウトソーシングサービス等。

ソフトウェア…個別プログラムを除く製品としてのプログラム全般、オペレーティングシステム(OS)、ミドルウェア、アプリケーションパッケージ等。

世界に広がる ネットワーク

◆海外販売拠点

中国 香港、深圳、成都、広州、重慶、武漢
上海、大連、合肥、杭州

タイ: バンコク、シラチャ、ランパーン、ピサヌローク
マレーシア: クアラルンプール、ジョホールバル、ペナン
ベトナム: ホーチミン、ハノイ
シンガポール、フィリピン

◆海外生産工場

中国、タイ、ミャンマー

○主な取扱メーカー

ヒロセ電機	ローム	シャープ	ニチコン
ソニーセミコンダクタソリューションズ	岡谷電機産業	タムラ製作所	
東京エレクトロニクス	双信電機	放熱器のオーエス	SEMITEC
竹内工業	FDK	坂東電線	大真空
タカチ電機工業	沖電線	サガミエレクト	Ambiq Micro

IIDA 飯田通商株式会社
IIDA ELECTRONICS (TSUSHO) Co., Ltd.

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-9-3
TEL 03-3251-0002 FAX 03-3251-6213
<http://www.iida-tusho.co.jp/>



NNP GROUP

Living & Working Together

NNP株式会社

<http://www.nnp.co.jp/>

営業品目: 電子部品、電子ユニット、電池、モータ、FA等の販売
OEM・ODM・設計開発の請負

本社: 名古屋市千代田区名駅3丁目19番14号 第2名古屋三交ビル14F
〒450-0002 TEL: 052-561-2571(代) FAX: 052-561-2595

営業拠点: 東京・静岡・大阪・広島・中国・香港・タイ

関連会社: NNP電子株式会社

取扱メーカー: パナソニックグループ各社・(株)村田製作所・京セラ(株)
ニチコン(株)・ミネベアミツミ(株)・新旭電子工業(株) 他

HAMADA

制御部品、パソコン周辺機器、監視・防犯システムの総合商社



FA制御部品

独創的なアイデアで
お客様のニーズに応える



PC周辺関連機器

浜田電機株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-9-4 TEL: 03-5651-7351(代表)

秋葉Direct TEL: 03-6825-3180 <http://www.akibadirect.com/>

<http://www.hamada-dk.com/>

プラスの価値が存在する。

千代田電子機器は商社としての「パーツ」の供給のみならず、
設計・加工・アッセンブリーと柔軟な対応を可能にできました。
現在は新たにGPS分野にも活躍の場を広げ、
ますます多様化するお客様のニーズに対応でき
るよう、サポートグループとも一体となって、
総合的なサービスを提供していきます。



CES	海外営業・購買窓口 シンガポール	CEH	海外営業・購買窓口 香港	CSH	海外営業・購買窓口 上海
-----	---------------------	-----	-----------------	-----	-----------------

MES	国内ASSY工場 株式会社エムイーエス	PST	GPS関連商品開発 ポジジョン株式会社
-----	------------------------	-----	------------------------



千代田電子機器株式会社
CHIYODA ELECTRONIC CO., LTD.

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-3-9 TEL: 03-3253-9561
U R L: <http://www.cec-chiyoda.co.jp>

主要取扱メーカー

パナソニック / パナソニック デバイスSUNX / NKKスイッチズ
ティアック / 小峰無線電機 / ポジジョン / コーセル /
PROLIFIC TECHNOLOGY



電子部品流通

THE DENSHI BUHIN RYUTSU

本誌への広告出稿のお問い合わせは下記まで

株式会社 家電流通研究センター
『電子部品流通』
編集部

〒113-0034 文京区湯島3-6-1
全国家電会館
電話03 (3832) 4298
FAX03 (3832) 5061
Eメール mail@krkc.co.jp

お客様のニーズに合った
最適なソリューションを
ご提案いたします



Electron Parts



角田無線電機株式会社
KAKUTA RADIO & ELECTRIC CO.,LTD.

<https://kakuta.co.jp>

電子営業部

〒116-0001 東京都荒川区町屋1-38-16(菱興町屋ビル3階)

TEL 03-6859-2600

FAX 03-6859-4940 (お見積)

FAX 03-6859-4941 (ご注文)

信頼されるパートナーになりたい。

〈営業品目〉

- ◇コネクタ
- ◇クーリングファン
- ◇モーター/トランス
- ◇ケーブル・アッセンブリ
- ◇各種eco商品
- ◇光通信機器
- ◇太陽光発電システム



www.tominagadk.co.jp

〔特約店〕

- (株)七星科学研究所
- 山洋電気(株)



富永電気株式会社

本社/〒101-0021 東京都千代田区外神田2-11-8 富永ビル
TEL.(03)3255-0821(代) FAX.(03)3255-0856



エレクトロニクスの
総合商社です

www.daiwa-musen.com

即納品5000品目からお選びください

大和無線電機株式会社

ISO14001 JQA-EM3267

本 社 〒113-0034 東京都文京区湯島3-13-8

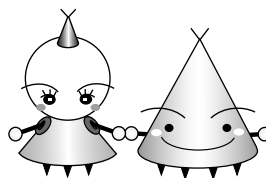
TEL 03-5846-8361 FAX03-3834-3211

特約代理店

オムロン・サンケン電気・SMK・ミネベアミツミ
東京コスモス電機・ニデックコンポーネンツ・日精電機
ホーザン・センサータ・キムラ電機・K O A

東亜無線電機株式会社

電気部品・電気機器・通信機器・情報機器の販売商社



人と情報のネットワークを広げる東亜無線のヒューマンテクノロジー

<https://www.toamusen.com/>



本 社 〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-11-7

TEL 06-6644-0117

販 売 拠 点 国内/大阪、京滋、名古屋、関東

海外関係会社 東亜無線(香港)有限公司

上海埃萊夏科貿易有限公司

TOA MUSEN VIETNAM CO., LTD.

お客様のニーズに応える
エレクトロニクス専門商社

主要取扱商品

- ◆電子部品・機器 ◆基板・実装
- ◆光部品・機器 ◆環境・省エネ機器



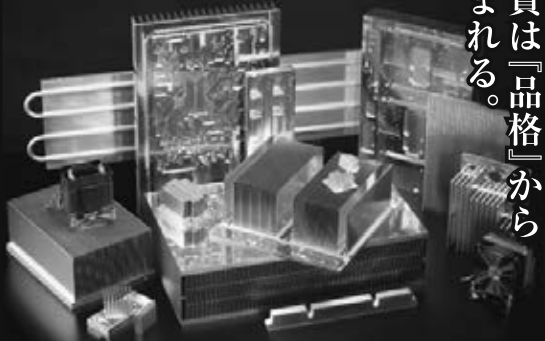
日昭無線株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-13-1

電子営業部 03-3255-6691

<http://www.nmk.co.jp>

LEXMARUSAN
<http://www.lex.co.jp>



品質は「品格」から
生まれる。

株式会社 丸三電機

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-9-2 Tel.03-3253-0411 Fax.03-3253-1935



岡本無線電機株式会社
OKAMOTO ELECTRONICS CORPORATION

本社 〒556-0005大阪府浪速区日本橋4丁目8-4 TEL.06(6643)4671(代) <https://www.okamotonet.co.jp>
 大阪営業本部 06(6327)1133 東京営業本部 03(3412)8211
 名古屋営業本部 052(249)3820 販売促進本部 06(6327)1461
 関連会社 おおとり株式会社(国際本部) 06(7167)8820 香港・深圳・上海・シンガポール・タイ・
 ベトナム・台湾・マレーシア

最新エレクトロニクスのフレキシブルな交差点 電子部品の総合商社

E-JUNCTION
electronics

New!

TJ-300
TJ-100-KY+TJ-100
R B

TJ-200
TJ-100-KT+TJ-100
R B

TJ-100-KT
フローブ針

TJ-100-KY
フォーク端子(Y型)

TJ-100-KK
C-100 パワーグリップ

TJ-100-KC
φ2ピンプラグ

TJ-100-KB
バナナプラグ

TJ-100-KA
クワガタ端子(U型)

TJ-100 ハンドル
Color of Handle
R W B G BL Y

SATO PARTS
SATO PARTS

自在な相棒。

使い方NAVI



TJ-100の使用方法を動画でご覧頂けます。

KISEKAE チップ
TJ-100 series
先端交換・組み合わせ自在!

www.satoparts.co.jp

展示会情報

- 電子機器トータルソリューション展2025
Electronics Component & Unit Show (ECU Show)
期間／2025年6月4日(水)～6日(金)
会場／東京ビッグサイト 東展示棟にて開催
- C E A T E C 2 0 2 5
期間／2025年10月14日(火)～17日(金)
会場／幕張メッセ

本誌への広告出稿のお問い合わせは下記まで

株式会社 家電流通研究センター
『電子部品流通』
編集部

〒113-0034 文京区湯島3-6-1
全国家電会館
電話03 (3832) 4298
FAX03 (3832) 5061
Eメール mail@krkc.co.jp